

第2回 切る

抑留当初は、武器になる恐れのある刃物類は所持することを禁じられ、没収されることもありました。

それでも、支給されたパンを切り分けるために必要なこともあり、鉄板の破片などを拾ってきて自作しました。

それまで長い間戦争があった影響で、戦争が終わった昭和20年からしばらくの間は、ソ連も大変な食糧難の時代でした。

そのため、抑留者の食料も十分ではなく、少ない食料、特にパンを平等に分けて配るために、自作の天秤ばかりとナイフが使われることがありました。

○ ナイフ①



このナイフは髭を剃ることにも使われました。

○ ナイフ②



帰国後も自宅で使用され、柿やリンゴの皮むきなどで利用されました。